

令和4年第6回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和4年7月28日（木曜日） 午後1時42分から4時5分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・新堀陽子・芳澤佐織
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 国分央・教育部参事 長嶋伸一・教育総務課長 野口重昭・学校教育課長 利根川典正・学校教育課副参事 下ノ坊圭・生涯学習課主幹 平井世一・高萩公民館長 市川徹
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	なし
会議資料の名称	会議次第、教育長報告、議案第33～36号

議題及び決定事項等

- 議案第33号 日高市学校給食センター運営委員会への諮問について
原案どおり可決
- 議案第34号 日高市教育振興基本計画策定等委員会委員の委嘱について
原案どおり可決
- 議案第35号 日高市教育事務の点検評価に係る学識経験者の委嘱について
原案どおり可決
- 議案第36号 日高市地域学校協働活動推進員の委嘱について
原案どおり可決

会議の経過

- 1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認
- 2) 教育長報告の要旨
 - 校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。
 - その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。
- 3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 新しい高萩公民館について、概ね完成しているが、洗練されていて良い建物であると思う。前面道路が平日午前8時 30分までスクールゾーンに指定されてい

- る。新たな公民館の開館に合わせて指定の解除時間を少し早められないかと思っている。警察からは10分程度なら繰り上げが可能と聞いている。
- (教育部長) 数日間、新高萩公民館前の道路の登校者数調査を実施した。8時から8時10分の間は中学生15人から20人程度、8時10分から20分の間は10人前後、8時20分以降はいなかった。交通対策の部署によると、市全域で時間の変更が必要とのことである。
- (委員) 学力・学習状況調査のCBT化(全てコンピューター上で行うこと)はいつから実施するのか。
- (学校教育課副参事) 県は来年度から実施予定である。
- (委員) 入試や他のテストは筆記なのに対し、学力調査だけCBTを用いることに疑問を感じる。子どものことを考えてそうするのか、何がねらいなのか調査してほしい。
- (教育長) 世界的にCBTを用いて調査をしており、取り入れていない日本の学力が低く出る傾向にあるため、平等にするというねらいもあると思う。
- (委員) 主体性を養う教育を目標に掲げているが、具体的な取組が見えてこない。教育委員会で示していく必要があると思う。また、教員に主体性、力が無ければ、教えることはできない。具体的にどう取り組むかを先生同士でも共有して指導していかなければならないと思う。
- (教育長) 優れた教員は子どものやる気を引き出せる。そうするためには教員の力量がなくてはならない。能力の向上に努めていきたい。
- (委員) 市長や教育長の考えが各校長、教育現場に伝わっていないように見える。指揮命令系統を今一度見直す必要があると思う。
- (委員) 新型コロナウイルス感染症対策について、国は自分の身は自分で守るという自己責任の方向へ舵を切っている。感染者が急増している原因が、人流の増加やウイルスの感染力、ワクチン接種からの期間経過がいられている。コロナウイルスに感染して重症化するのには、免疫がウイルスに過剰防衛をおこして肺炎などが悪化するのが主なケースである。ワクチンを一度接種すれば抗体は残るため、重症化するリスクは下げられる。一番の対策は空気の滞留をなくすことである。
- (委員) 日高市民まつりや巾着田曼珠沙華まつりは実施予定なのか。
- (教育部長) 現時点では実施の予定である。出店数を減らすなどの対策を行って開催する。
- (委員) 高麗中学校が受賞した河川功労者表彰とはどういった内容なのか。
- (学校教育課長) 公益社団法人日本河川協会から、長年の河川清掃が認められ表彰された。50年以上に渡って活動を続けている。
- (委員) 令和2年度の全国の不登校者数が19万533人、県内では8,935人とあるが、高校生も含んでいるのか。
- (教育長) 小・中学生のみである。コロナ禍になってから増加傾向にある。
- (委員) 不登校など悩みを抱えている子どもは、大人に振り向いてもらいたいと思っている。よく話を聞くことが大切である。
- (委員) 高麗小・中学校の子どもたちは挨拶がよくできると感じた。また、夏休みになって自転車のマナーが良くない子どもを目にする。
- (委員) 教職員の病気等による休職の状況はいかがか。

(学校教育課長) 今年度はない。学校訪問してもそういった話はない。

(委員) 教員の働き方改革について、県から資料はきているか。

(学校教育課長) 「働き方改革新基本方針」や「業務改善スタンダード」などの資料がきている。

(委員) 先日、県主催の教育委員向けの研修会に出席した。勤務状況調査の説明があったが、結果ありきの調査で内容に疑問を感じた。

(委員) 新型コロナウイルス感染症がここで急拡大している。秋には運動会、体育祭があるが、実施方法については、その時点での状況を鑑み柔軟に対応してもらいたい。

(委員) 高萩公民館と高萩小・中学校PTAとの共催の人権事業はどういった経緯で開催されることとなったのか。

(高萩公民館長) 去年はコロナ禍で開催できなかったが、例年高萩地区では、PTAと連携してこういった事業を実施している。

(委員) 教育長から各校長への指示伝達の中に「保護者や地域からの要望・要請には、丁寧な対応を」とある。その通りであると思う。悩みがあるから相談するので、いい加減な対応をとるとクレームや歪みにつながる。ぜひ丁寧な対応を心がけてもらいたい。

(教育長) 先日、初任者教員の研修で、子どもの気持ちに寄り添ってほしいと話をした。それは保護者や地域への対応も同じである。学校の理屈だけで対応してはよくない。今後も指導していきたい。

(委員) コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を推進していくならなおさら重要なことである。

(委員) 学校から保護者への連絡メールの内容について、コロナ禍でメールの発信件数も増加している。内容については簡潔にしたほうがよい。まず小学校からなのか中学校からなのか一目でわかるようにしてもらい、形式的な挨拶文は不要とし、伝えたい内容だけを簡潔にしたほうがよいと思う。

(委員) 新型コロナウイルス感染症について、市内の小・中学生にも感染者が増えているが、重症化したケースはあるのか。

(学校教育課長) 入院の報告は入っていないが、高熱が出たという話は聞いている。

(委員) 12歳未満のワクチン接種率は15から16%程度である。ここで感染が拡大しているので接種希望者が増加している。ワクチンを接種して発熱や痛みが出るということは効果が出ているということである。

(委員) 先日、犯罪予告メールが送られてきた事案があったが、その後実際に何かあったのか。

(学校教育課長) 日高市だけではなく同じようなメールが各地に届いていた。飯能警察と情報共有して対応したが、特に事件は起きていない。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案第33号

(委員) 月額400円で足りるのか。

(教育総務課長) 昨年受けた答申では、月額400円の値上げが妥当ということであっ

たが、その後の世界情勢の急変や物価の高騰を受け改めて諮問をすることとした。

(委員) 何の材料が上がっているのか。

(教育総務課長) 小麦粉などの高騰があげられるが、主要食材 32 品目を検証したところ、再度検討が必要と判断した。

議案第 34 号から 36 号 非公開のため記載せず

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

- 8 月定例会：8 月 25 日（木曜日）午後 1 時 40 分から 委員了承
- 9 月定例会：9 月 26 日（月曜日）午後 1 時 40 分から 委員了承